

【報道関係者各位】

2026年4月10日

復職初日に「頑張らない」宣言?! 育休復帰社員を支えるユニーク"復職式"を公開 10年目を迎えたオイシックス・ラ・大地の「復職支援プログラム」 ～子育て層の課題に寄り添うイベントに 専門家らのトークセッションも実施(4/24)～

食品のサブスクリプションサービスを提供するオイシックス・ラ・大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平、以下：当社）は、育休からの復職を支える取り組みとして、復職者を迎える「復職式」を2026年4月24日（金）に実施します。当社では2017年より取り組んでおり、本年で10回目の節目を迎えます。これを機に、これまで培ってきたノウハウを、企業規模や業種を問わず活用できる形で広く公開することで、復職を前向きに迎える文化の醸成を目指し、本年は公開イベントとして開催します。

あわせて復職後の心理的負担軽減をテーマに、専門家と当社社員によるトークセッションも実施予定です。



▲2025年に実施した「復職式」の様子

■仕事と育児の両立支援に関する制度整備が進む一方で、残る“復職直後”の課題

2025年10月に施行された「育児・介護休業法」の改正では、仕事と育児の両立支援に関する制度整備が盛り込まれました。具体的には、企業による育休取得の意向確認が義務化されたほか、柔軟な働き方を実現するための措置として、始業時間等の変更やテレワーク、短時間勤務など複数の働き方の選択肢を提示することなどが求められています。さらに、子の看護休暇の対象年齢が拡大されるなど、両立を支える制度は拡充されています。当社でもこれまで、法改正に先駆けて小学6年生までを対象に時短勤務制度を導入したり、独自の支援制度として「パパプラス休暇」（配偶者の出産時に付与される有休）を創設するなど、社員のライフイベントに寄り添い、働き方サポートのあり方を進化させてきました。

一方で、復職直後には業務のキャッチアップへの不安や、育児と仕事の両立による生活負担など、制度だけでは十分にカバーしきれない課題も残ります。制度整備が進む中、復職後の立ち上がりを支える実効性のある取り組みの重要性が高まっています。

■社員の実体験をきっかけに始まった「復職式」 10年におよぶ復職後を支える取組

当社では、復職後に職場環境の変化への適応に悩みや不安を抱えた社員の实体験をきっかけに、2017年から「復職式」を開催しています。復職式は、育休から復職する社員に対し、上長や同僚から「おかえりなさい」の気持ちを伝える場であり、復職への不安を軽減し、職場へのスムーズな再適応を後押しすることを目的としています。また、復職前講座や面談、復職者同士の交流機会の創出などを含む復職支援プログラムを通じて、復職後の立ち上がりを多面的に支えてきました。10回目の節目となる今年、このセレモニー自体を公開イベントとすることで、復職者を支える取り組みの社会的な広がりを目指します。当日は、つい何事も完璧にこなそうと無理をしがちな復職者が、前向きに【これは「頑張らま宣言」】を行う時間を設け、肩の力を抜いて復職してほしいと考えています。



本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：丸尾

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）

■ 仕事も生活も忙しい復職時期は“ゼロ家事”で乗り切る！

メンタルを必要以上に削られない＝「メンパ」に良い食サービスを専門家らが紹介

これまでの復職者へのヒアリングから分かってきたこととして、復職直後は「完璧にこなせない自分」への罪悪感や、自分のケアを後回しにする孤立感が課題になりがちです。そこで本年は「復職式」を二部構成とし、がんばりすぎない「完璧主義」からの解放をテーマに、復職式後半では、専門家と2度の復職を経験した当社社員とのトークセッションを実施します。

【登壇者】

本間朝子／知的家事プロデューサー

フードプランニング会社のチーフプロデューサーを経て独立。自身が仕事と家事の両立に苦労した経験から、時間と無駄な労力を省く家事メソッド「知的家事」を考案。「時間がない」「家事が大変」と感じる多くの人の課題解決に取り組んでいる。NHK「あさイチ」やTBS「ひるおび」、日本テレビ

「DayDay.」などの情報番組に出演。テレビドラマ『私の家政夫ナギサさん』では時短家事アドバイザーを務めた。産経新聞にて「ゼロ家事のススメ」を連載中。

著書は『写真で分かる！家事の手間を9割減らせる部屋づくり』（青春出版社）、『ムダ家事が消える生活』（サンクチュアリ出版）、『ゼロ家事』（大和書房）など全13冊。



荒川桃子／オイシックス・ラ・大地株式会社

サービス開発本部・デリOisix プロジェクトマネージャー

イベントプランナー、雑誌や書籍のライター、エディターを経験後、2013年に仕事と育児を両立できる職場を求めて、旧らでいっしゅぼーやにキャリア入社。社長直下でOisixのサービス開発を経験後、より自分の強みを発揮できる環境を求めて退社、2023年6月にオイシックス・ラ・大地にカムバック。2児のママ。



■ 復職支援の取り組みを公式noteで公開、誰でも活用可能に

10回目の節目となる今年、復職者に贈っている「復職証書」のテンプレートおよび復職支援プログラムの内容を当社の公式noteで公開します。企業規模や業種を問わず活用できる形で広く公開することで、復職者を支える取組の社会的な広がりを目指します。

公式note URL : <https://note.com/oisixradaichi/n/n7a1ae2ca734a>



▲（左から）公開した復職証書テンプレート、復職証書の授与の様子（2025年）

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：丸尾

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）

食品宅配サービス「Oisix」について

2000年に設立。「つくった人が自分の子どもに食べさせられる食材のみを食卓へ」をコンセプトとした、有機野菜や特別栽培野菜など、できる限り添加物を使用せずに作った加工食品などの食品を取り扱うEC食品宅配サービスです。現在、会員数は360,703人（2025年12月末時点）で日本全国の方にご利用いただいています。2013年7月に販売を開始した、必要量の食材とレシピがセットになった、調理時間が10分から作れるミールキット『Kit Oisix』は、シリーズ累計出荷数が2.5億食（2026年2月時点）を突破しています。



オイシックス・ラ・大地株式会社について

オイシックス・ラ・大地株式会社は、「Oisix」「らでいっしゅぼーや」「大地を守る会」の国内主要ブランドを通じ、安心・安全に配慮した農産物、ミールキットなどの定期宅配サービスを提供しています。子会社に、事業所、学校などで給食事業を展開する「シダックスコントラクトフードサービス」、病院、高齢者施設、保育園、幼稚園などで給食事業を展開する「シダックスフードサービス」、買い物困難者向け移動スーパー「とくし丸」、米国でプラントベース食材のミールキットを展開する「Purple Carrot」などがあり、食の社会課題を解決するサービスを広げています。また、「サステナブルリテール」（持続可能型小売業）としてSDGsに取り組み、サブスクリプションモデルによる受注予測や、ふぞろい品の積極活用、家庭での食品廃棄が削減できるミールキットなどを通じ、畑から食卓まで、サプライチェーン全体でフードロスゼロを目指しています。

<https://www.oisixradaichi.co.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：丸尾

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）